

平成28年度第1回大津町振興総合計画等評価委員会 議事概要

1. 日 時：平成29年3月22日（水）午前の部10時00分～、午後の部13時00分～

2. 場 所：大津町役場 電算室3階 ミーティングルーム

3. 議題等：(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 議事

①議事録の公開について

②大津町振興総合計画基本事業の評価について（総務部・住民福祉部）

③ " (経済部・土木部)

④その他

4. 出席委員等

関係団体等	氏 名	備 考
学識経験者（熊本県立大学教授） ※委員長	明石 照久	出席
大津町区長会会長	宇野 馨	出席
公募委員	大島 照雄	出席
公募委員	緒方 正男	出席
女性グループ（大津町女性の会会長）	坂本 晶江	出席
大津町教育委員委員長	首藤 誠治	出席
J A 菊池大津中央支所理事	瀬川 友次	出席
大津町企業連絡協議会会長	鳥栖 彰孝	出席
大津町民生委員・児童委員協議会顧問 ※副委員長	豊住 幸夫	出席
大津町身障者福祉会	中村 静次	欠席
大津町商工会理事	西川 秀貢	欠席
肥後おおづ観光協会理事長	山下 和貴	出席
公募委員	与古田 公子	出席

（アイウエオ順）

5. 委員会傍聴人 1名

(1)開会

(2)委員長挨拶

(3)議事 ①議事録の公開について

事務局より

- ・ 本委員会の会議記録については、議事概要を公表することで予定していることを説明。

委員より

- ・ 質問、意見等なし。公開することで承認。

(3)議事 大津町振興総合計画基本事業の評価について（総務部・住民福祉部）

事務局より

- ・ 本日の資料について、および委員の各事業の評価方法について説明。

【総務部：議会事務局】

議会事務局より事業および評価について説明。

（基本事業評価調書該当ページ：P113～114）

委員からの意見

- ・ 傍聴者の数が少ないと思う、町議会議員や議会事務局で傍聴者数を増やす方法を更に検討して欲しい。日曜議会をまた実施してはどうか。
- ・ 一番身近な町議会議員選挙で投票率が55%しかっていないのは問題ではないか。
- ・ 議会議員との意見交換会は、要望すればできるのか。（→議会事務局を通して要望いただければ可能。）
- ・ どこにどのような要望があるのかなど、町民の意見を聞く機会をもっと作って欲しい。
- ・ 「議会だより」を読んでも魅力を感じられない。また、議会の傍聴に行っても再度行く気にならない。根本的なところから、魅力ある議会を全体で考えていただきたい。
- ・ 議会の質問・答弁のやり方を町民が分かりやすいように考えた方がいいのではないか。

議会事務局より

- ・ 「議会だより」に対して、マンネリ化している、と感じている部分もある。選挙があり、新しいメンバーで編集するようになるので、新しい特集記事なども検討している。

委員からの意見

- ・ 先の町議会議員選挙では、投票用紙が届いていなかったとの声もあったので、次回の参考にして欲しい。投票用紙が届けば、選挙に行こうという気にもなると思う。
- ・ 学生や若い人などに、投票や議会について考える機会や大津町がどう考えているかを伝える機会を設けて欲しい。
- ・ 議会事務局としては今回の投票率が低いことについて分析は行っているか？改善するためには分析が必要。

議会事務局より

- ・ 議会事務局としてはまだ分析はしていない。選挙管理委員会でデータの集計等を行っているので、協力して分析および投票率の増加への対策を検討していく。

【総務部：総務課】

総務課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P47～48、P79～88、P91～92、P95～96、P101～102、P111～112、P115～116)

委員からの意見

- ・ 国際交流について、台湾高雄市と大津町との小学校の交流があるので、平成29年度は中学校の交流も広げるため、国際交流協会の協力なども含めてよろしくお願ひしたい。
- ・ 国際交流員のマシューさんが小中学校に行く機会を増やして欲しい。新しい人を雇うのも良いが、今いる人材で国際交流をしてほしい。
- ・ 交流人口の増加対策の予算を増やして、交流に参加しやすい環境づくりをして欲しい。町の活性化にもつなげて欲しい。
- ・ 防災関係について、10年前（平成18年度）に町とJAとで協定を結んでいるので再度見直しをお願いしたい。
- ・ 今回の震災でJA女性部も炊き出しを行った。今後JAの建物の建て替えも検討しており、その際に、加工施設の建築、行政と手を結んだ形で、炊き出しなどの活動ができるそういった施設の整備・充実もお願いしたい。
- ・ 交通関係について、大津町管内の事故は把握しているのか。企業としても事故ゼロを目指しているのか、情報の提供をお願いしたい。
- ・ LED街灯の設置計画は終わっているのか。とても良い効果があるので協力的に進めて欲しい。

総務課より

- ・ 交通事故関係については警察より情報をいただいている。機会をいただければ、企業連絡会等でお知らせしたい。

委員より

- ・ 震災被害後の指定避難所18箇所の整備はできているのか？

総務課より

- ・ 小学校の体育館は卒業式までに改修を行う。町総合体育館は平成29年年内を目途に改修を進める。

委員より

- ・ 災害時において総務課と福祉課との連携は取っているのか。今回の震災で安否確認がすぐに

は無かった(発災後しばらくたって民生委員から連絡あり)。行政の横の連携を取って欲しい。福祉課から、かかりつけ病院・服薬・持病などをリストアップしてまとめている袋があるが、今回の震災では役に立たなかった。要支援者の避難計画はどうなっているのか。

- 交通安全に関して、ミルクロードからの交通量が増えている。通学路にもなっているので見守りなどが必要ではないか。改善を考えて欲しい。車の量が多く、スピードが速い。危ないので何とかして欲しい。

総務課より

- 今回の震災対応を経験し、要支援者の避難はマニュアル通りに進まない事が分かった。訓練していないと動けないため、日々の訓練が必要だと感じた。主導対応についても意見をいただいているので、今回の反省点も踏まえ、今後防災計画を見直していく。
- 交通の件に関しては交通安全協会大津支部や警察署等と協力して進めていきたい。

委員より

- 行財政改革について、地域おこし協力隊などの様に、外部の方などの人材も取り入れていくべき。
- 肥後大津駅をインバウンドの拠点として整備を行うべき。
- ブランド推進、イベント活性化などの位置づけをしっかりと欲しい。
- 菊池市には12名の地域おこし協力隊がいる、大津町には4名しかいないので拡大の検討をお願いしたい。

総務課より

- 地域おこし協力隊などの人材育成については、役場OB・OGの力なども借りて人材育成していきたいと考えている。

【総務部：税務課】

税務課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P107～108)

委員より

- 義援金についてはどのような管理をしているか？

担当課より

- 税金とは別会計にて管理している。半壊以上の人に配分している。

【総務部：人権推進課】

人権推進課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P41～46)

委員からの意見

- 女性の進出問題について、各行政区の区長の選出はどの様に選定されているのか？（→区長の選定方法については地域によって異なる。場所によっては年齢順にしているところもある。）
- 区長の役職はたくさんの方に経験していただきたい。女性の進出も促してほしい。
- これから先は、ウーマンパワーや女性の意見を積極的に取り入れていくことが必要である。
- 区の中に女性の役を必ず作るようにしてはどうか。以前は婦人部などがあった。
- 成果指標の数値は改めた方が良いのではないか。女性の審議会の登用率と区長の人数しか出ていないので、他の視点からも数値を出した方がいいのではないか。
- 男女共同参画審議会などの視察については、民間の方も参加できるようにしてはどうか。
- 年間計画を立てて、広報などに掲載し、住民が広く参加できるようにしてはどうか。

【総務部：財政課】

財政課より事業および評価について説明。

（基本事業評価調書該当ページ：P89～90、P97～98、P103～106）

【総務部：総合政策課】

総合政策課より事業および評価について説明。

（基本事業評価調書該当ページ：P93～94、P109～110）

委員より

- ホームページのアクセス関係について、ネットが使えない方、情報が伝わらない方への周知をどの様に行うのか。
- ホームページアクセス数の分析は行っているか。（→分析は行っている。）

総合政策課より

- 震災時は広報の臨時号、住民の回覧板、避難所、仮設住宅への資料配布をして対応を行った。今後も携帯電話などの媒体を通して周知を図っていく。

【住民福祉部：住民課】

住民課より事業および評価について説明。

（基本事業評価調書該当ページ：P73～74、P99～100）

委員からの意見

- 役場に来庁される方の中には、発券機の操作でさえ分からない人がいる。仮設庁舎でも年間を通して専任のフロア案内係を配置して欲しい。
- マイナンバーの導入は予定通り進んでいるか？

住民課より

- マイナンバーの交付については全国平均7%に対し、大津町は6.25%となっている。今後より交付の推進に努める。

【住民福祉部：環境保全課】

環境保全課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P51～58、P75～76)

【住民福祉部：福祉課】

福祉課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P1～8)

委員より

- ・ 地震のときに、要援護者については区の役員でさえ分からない状態であった。(要支援者の名簿はいつ配られたのか?) 今後、要援護者の名簿をどこまで活用できるのか、またどのような人たちまで名簿が見れるのか。

福祉課より

- ・ 要援護者の名簿は、基本的に事前に本人の同意が無ければ提示できない。(現在は 585 名把握している) しかし、今回の大規模災害の際には提示することができる、今回の地震でも可能な限り区長に早くお渡しした。

委員からの意見

- ・ 地域包括支援センターで行っていることをもっと広く PR していくべき。
- ・ 相談件数が減っているようだが、相談に来るのを待つだけでなく、出掛けて行って相談に乗ることも必要。センターで行っていることを町民の全体が知ることが出来るように頑張ってもらいたい。

福祉課より

- ・ 「支えあいセンター」に相談が増えたため、地域包括支援センターへの相談件数が減ったと思われる。

委員よりからの意見

- ・ 要支援者で同意がある方に対して、具体的にどのような対応をとっていかを考えていくべき。
- ・ アンケートもいろいろ行われているが結果を活かせていない様に思われる。
- ・ 高齢者の方達が自立していくために、地域福祉に特化したエリアを設け、公園・店などを集約して気軽に外出できる町づくりを町全体で行っていくべき。

福祉課より

- ・ 災害公営住宅をつくる際に、検討していきたい。

【住民福祉部：健康保険課】

健康保険課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P9～14)

委員より

- ・ 早期受診をして早期治療につながった例はあるか？
- ・ 特定健診については住民全員に通知しているのか。

健康保険課より

- ・ 早期治療につながった事例はある。
- ・ 特定健診の通知に関しては、健診の対象となる国民健康保険被保険者には全員通知している。社会保険加入者には各保険者から通知がっていると考えている。

【農業委員会】

農業委員会より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P25～26)

【経済部：企業誘致課】

企業誘致課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P33～34)

委員からの意見

- ・ 震災後、各企業を訪問して現状を把握し、今後企業に何が必要か把握を行ってほしい。(町内企業 69 社)
- ・ 現在、企業は人材が不足しており、アジア(中国・台湾・ベトナム等)から人材を集めている状況。その中で「移住」が問題となっているので、空き家などの情報提供をお願いしたい。

企業誘致課より

- ・ 企業の状況把握については、震災後、いくつか企業を訪問させていただいているが、来年度は全社訪問を目指して把握に努めたい。
- ・ 空き家情報の提供については、町内の不動産業者(30社ほど)と連携を進めたい。

【経済部：農政課】

農政課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P15～24、P27～30)

委員より

- ・ 上井手の復旧についてはどの様に進めるのか。

農政課より

- ・ 来年度通水できるように復旧を進めている。完全ではないが、田植えの時期に間に合うように進めたい。

委員からの意見

- 農政課の人員が少なく、なかなか事業が進まない様に感じる。今後の災害復旧も踏まえ、増員をお願いしたい。
- 有害鳥獣対策の件について、猿への対策はどのように行っているのか。最近は通学路に出没する場合もあるので対策をお願いしたい。

農政課より

- 有害鳥獣については、基本的には農作物に影響がある場合に対応を取っている状況。ただ、『駆除』を行うことは難しい。今後は総務課や学校教育課、警察などと連携して進めていきたい。

【経済部：商業観光課】

商業観光課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P31～32、P37～40)

【土木部：建設課】

建設課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P59～64)

建設課より

- 平成28年度は震災復旧を優先したこともあり、当初予定していた補助事業についてはほとんど実施できていない状況。

委員より

- 新小屋の清正公道を埋め立てているが、状況の説明をお願いしたい。
- 埋めた後に碑などは立てないのか？

建設課より

- 今回、ミルクロードの交通量が増加したことにより、道路脇の堀（清正公道）が崩れてきている。崩落を防止するにあたり、擁壁工事で補強を行うには道路を通行止めにしたうえでの工事が必要になってくるが、現状では難しい。そこで、通行止めを行わなくて済むため『埋め立て』にて工事を行うことにした。学芸員・県の方にも確認し、「やむなし」と判断して埋めた。
- 記念碑等については教育員会と相談します。

【土木部：都市計画課】

都市計画課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P49～50、P65～72)

委員より

- ・ 肥後大津駅の愛称『阿蘇くまもと空港駅』を全面的にPRして行って欲しい。

委員より

- ・ P72の事業がD、C評価となっていることへの説明を伺いたい。

都市計画課より

- ・ 住宅整備に関して毎年2棟ずつとしていたが、地震の関係で遅れが生じているため、この評価になっている。

委員からの意見

- ・ 駅前に駐車場が無いのでJRを使うことが不便である。月極めの駐車場はいくつかあるがすでに満車の状態。今後の駅周辺の駐車場の整備についての考えを尋ねたい。(→現状、駐車場の整備について具体的な計画はない。)
- ・ 駅南のロータリーにコインパーキングはあるが、一日中停めたら高額(以前は1日400円程度だった)になる。安価な駐車場の整備を考えていただきたい。
- ・ 参考意見として、イオン駐車場にある空港ライナー駐車場(パークアンドライド)(10台分)は予約の手間がかかるし、常に予約でいっぱいである。抜本的な駐車場の確保が重要である。
- ・ 熊本県の大空港構想にあるように肥後大津駅を空港の一部として考えるのであれば、駅周辺駐車場の整備は必要である。

【土木部：下水道課・工業用水道課】

下水道課、工業用水道課より事業および評価について説明。

(基本事業評価調書該当ページ：P35～36、P77～78)

委員からの意見

- ・ 合併浄化槽を設置した場合のランニングコストがとても高い。下水道利用者とコストの平準化を図るべき
- ・ 南部地区の下水道の整備状況はどのようになっているか。(→整備には吹田が3年、大林・瀬田は7～8年かかる見込み。)